

いぐねだより 第2号

不定期刊 2005年10月1日発行
東日本高速道路(株) 仙台工事事務所
責任者 山田副所長(022-248-4552)

一常磐道 山元～亘理間工事情報一

新会社発足に当って

【東日本高速道路株式会社 仙台工事事務所長 飯塚 成】

平成17年10月1日、日本道路公団は3会社に分割民営化され、宮城県内事業は、新しく発足しました東日本高速道路株式会社に引き継がれました。私ども東日本高速道路(株) 東北支社 仙台工事事務所の基本方針は、地域の皆様に喜んで頂ける、お客様に期待を感じて頂ける高速道路ネットワークの早期完成を目指します。

また、環境に配慮し、今まで以上にコスト意識を持って安全・安心な高速道路を建設します。そして、一人一人が道路づくりのプロとして、自信を持って自分の仕事にあたり、成果には責任を持ちます。会社名が変わっても皆様の協力に感謝しつつ、着実な高速道路の整備のため、所員全員で頑張りますので、引き続きよろしくお願い致します。

児童が高速道路の建設を「お手伝い」 『ハイウェイみて！みて！常磐道』特集

◎ 参加者内訳

町	山元	亘理	計
小学校	4校	5校	9校
幼児	0	1	1
児童	6	13	19
保護者	4	8	12
計	10	22	32

8月23日(火)、「道路ふれあい月間」に合わせ、JH東北支社仙台工事事務所・仙台技術事務所・仙台管理事務所が企画した常磐道山元～亘理間の建設現場見学会が行われ、現場周辺の山元町・亘理町の小学生児童と保護者32名が参加しました。

吉田工事で高速道路盛土のお手伝い



よいしょ！こらしよ～と！ みんなの盛った土が高速道路の一部に！

工事最盛期の盛土現場では、はたらく車の説明を聞いた後、建設機械のデモンストレーションを見て、実際の作業を見学しました。また、バックホー、ブルドーザー、振動ローラーの運転席に試乗して、大型建設機械の操縦気分を満喫していました。

スコップで土砂を敷均す「盛土のお手伝い」には、小さい児童も一生懸命に取り組んでいました。さらに、ダンプトラックと綱引きに挑戦したが、児童だけでは動かず、保護者と協力して勝利し、大人のすごさを実感していました。



みんなで力を合わせれば、ダンプにも負けないよ！



鏡(あぶみ)川橋建設のお手伝い

鏡(あぶみ)川橋では、建設中の橋の上って、地覆鉄筋の結束の「お手伝い」をしたが、細かい作業に悪戦苦闘していました。

また、ボルト締め体験では、工具を使ってしっかりと締めていました。そして、締め付けが終了して落ちるボルト先端部を記念に持ち帰っていました。

さらに、橋の上からトランシットやレベルで我が家や学校を望遠したりと、盛り沢山の見学メニューに満足していました。

針金でちゃんと結べたかな？
鉄筋を固定できたよ！



橋が落ちないようにボルトを締めるぞ！



参加した児童は、日頃、通りすがりに見ていた高速道路の建設を「お手伝い」して、後々になっても「自分が手伝った常磐道」の思い出ができたと思います。現場の工事関係者は、この児童の思い出が薄れないうちに早期開通するぞと、気合いを入れ直していました。

仙台技術事務所・仙台管理事務所

常磐道の建設現場を「お手伝い」のあと、まだまだ元気な児童は、亘理IC～仙台宮城IC間の高速道路を走行して、ETC体験したり、バスの中では高速道路だけにある標識板の学習をしました。
 仙台技術事務所では、コンクリートを使ってこけし作りに挑戦しました。超早強セメントを使用したため、あまりにも早く固まるのにびっくりしながらも、物作りが好きな児童は一生懸命に取り組んでいました。
 仙台管理事務所では、高速道路を守っているパトロールカーや除雪車の説明を聞いた後、トンネル作業用のリフト車に試乗しました。5mも高く上がる車にびっくりしながらも、2回試乗していました。



早く作らないと固まるよー！
上手にお顔が書けたかな？

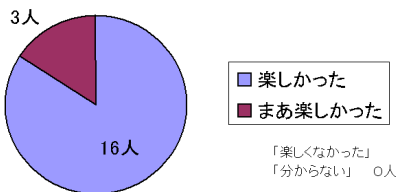


こんなに高く上がる車初めてだぞ！
もう1回乗ろうかな？おじさんお願い！

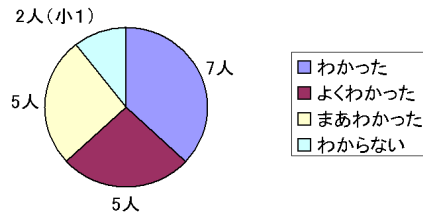
児童のアンケート調査結果

回答19人

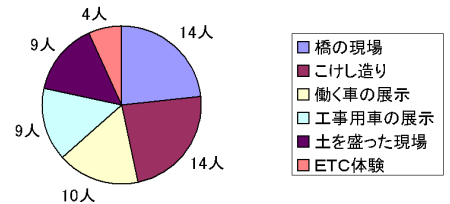
見学会は楽しかった？



説明は理解できたか？



何が面白かった？



参加した児童(幼児除く19人)のアンケート調査では、見学会は楽しく、説明が理解できたという結果でした。また、橋の現場やこけし作りが面白かったということで、現場を見て説明を聞くだけでなく、現場にさわり機械に試乗したり、さらに、物を作り工事を「お手伝い」する見学会メニューが人気のようです。

保護者の感想(抜粋)

- Aさん:** ふだん見ることのできない車を近くで見れて子供達は喜んでいました。ダンプとの綱引きなど楽しめました。コンクリートを使ってこけし作りをしたことは記念になったので良かったです。
- Bさん:** 橋を作る作業の手伝いができて、後々にも「自分が手伝った」という体験は忘れられないものになったと思います。参加して良かったねと子供とも話っていました。
- Cさん:** 私達はボルトを締めた橋ができていくのを良く見ていました。冬の寒い中、強風の中「よくやっているなあ」と思っていた橋に自分が上がり、まさかボルトを締める事になるとは思っていませんでした。現場もきちんと片付き、そこで働く方々に頭が下がるばかりです。
- Dさん:** 自分の住む場所の近くを通る工事現場が見学できて良かった。子供に盛り土体験をさせたのが良かった。
- Eさん:** 高速道路を建設するには気の遠くなるような作業を経て、又、多くの方がかかわっていることをあらためて知りました。中高生向けにもこのような見学会があれば良いと思いました。
- Fさん:** 今回参加してみて見学会の充実ぶりといういろいろと工夫をこらしていることに感心すると同時に大変満足しました。子供は特にこけし作りが気に入ったようです。うちでもETCをつけようと思います。
- Gさん:** 高速道路を作る事に子供が携わった事は一生の思い出になると思います。いろんな車にも乗せて頂いて喜んでいました。(説明がわかりやすかった)

地域の方々は常磐道の工事が進むのを気にしていた様子で、今回、色々なメニューの現場見学会に参加して、工事に携われたことを喜んで頂いたようです。特に、児童が常磐道の建設を「お手伝い」できたことは、地域の将来を担う児童にとって、貴重な体験「思い出」となったようです。さらに、中高生向けにも見学会開催を要望していました。

今回の見学会開催に当って、現場では楽しんで貰えるメニューを考え、児童の安全に配慮して準備し、実施しました。協力いただいた作業員・現場関係者にお礼申し上げます。常磐道山元～亘理間の工事現場では、小学生からお年寄りまでの見学会を開催していますのでお申込み下さい。申込み先: 仙台工事事務所 栗原 工務課長(022-248-4552)

